

2020年7月1日、東京

リクソー投信株式会社、代表取締役社長にステファン・ロジャーを任命

リクソー投信株式会社（以下「リクソー投信」）は、7月1日付けでステファン・ロジャーを代表取締役社長に任命いたしました。ステファン・ロジャーはフランスのリクソー・アセット・マネジメント（以下「リクソー」）の最高クライアント責任者、ナタナエル・ベンザケンと、ソシエテ・ジェネラルの日本におけるグループ・カンントリー・ヘッド、ラファエル・シェミナの下で職務にあたります。

なお、この度の人事によって、リクソーはETF（上場投資信託）やオルタナティブUCITS（譲渡可能証券の集団投資事業）、ソリューション等の事業基盤を活かし、日本とアジア太平洋地域における事業をより発展させることができると期待しております。また、ロジャーは日本市場にも精通しており、リクソー投信は日本の金融機関のお客さまのさまざまなニーズにより適したサービスのご提供を行って参ります。

ステファン・ロジャー略歴

資産運用業界で20年以上の経験を有し、うち10年以上をリクソー、ソシエテ・ジェネラルのアジア事業で培う。1999年、パリのHSBCアセット・マネジメントのマルチアセット・ポートフォリオ担当者としてキャリアをスタート。その後、2006年にソシエテ・ジェネラル・グループに入社し、東京のソシエテ・ジェネラル・アセット・マネジメントのオルタナティブ投資チームを率いる。2009年9月にリクソー入社。同社のパリ・オフィスに在籍した後、2010年8月に香港に異動し、アジアにおけるリクソーの資金運用チームを設立。チームはその後、SGセキュリティーズHKおよびSGの以前の中国合併企業、フアバオ（Hwabao）アセット・マネジメントHK（前フォーチュンSG）の中に置かれた。この間、ロジャーはさまざまなマルチアセット・ファンドやクオンツ戦略、ETF等の開発と管理を指揮。2018年9月から東京に戻り、ソシエテ・ジェネラル証券会社内のリクソー・セールスチームと連携し、金融工学に軸足を置いてアジアにおけるリクソーの商品とソリューション開発に尽力。2020年6月にリクソー投信の取締役役に就任。

ENSAE（国立統計経済行政学院）、パリ・ドーフィン大学との共著による応用数学の研究修士学位（research master program）を取得。2002年からCFA資格保有者。

リクソー・アセット・マネジメント（リクソー）はソシエテ・ジェネラル・グループの子会社で、1998年に設立されました。運用資産総額は1,440億ユーロ*。リクソーはETF（上場投信）、指数連動型運用、アクティブ運用およびマルチアセット投資など、お客さまのご要望に合わせた資産運用ソリューションを提供しています。また、リスク管理とリサーチを強みとするリクソーは、あらゆる資産クラスに対応し、継続的にお客さまにご満足いただけるサービスを提供できるよう努めて参ります。 <http://www.lyxor.com>

* 2020年5月末時点の運用資産総額